

取扱説明書

タッチ機能専用シンプルモデル「らくらくボード」
LCD-CU651EDB-T

表面	裏面
<ul style="list-style-type: none"> 添付品を確認する 設置する タッチペンホルダーを取り付ける つなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> 使う 各部の名称・機能 困ったときには

詳細ガイド (Webマニュアル)

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd_243971/

ご注意：二人以上で用意・設置する

一人での用意・設置は、けが・本製品の故障の原因になります。

プラスドライバーと手袋をご用意ください

タッチペンホルダーの取り付け・設置時の手の保護や滑り止めに必要です。

添付品を確認する

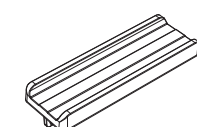
 HDMI ケーブル

 タッチ用 USB ケーブル (A-C USB 2.0)

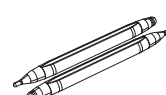
 電源コード

 リモコン・動作確認用電池


- 電池をセットする際は、リモコンの裏ボタンを開け、単4形乾電池を2本入れます。
- 添付の電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換してください。
- ※ 電池は、取扱説明書と同じ袋に入っています。

 タッチペンホルダー

 タッチペンホルダー取付用ネジ (2本)

※ 取扱説明書と同じ袋に入っています。

 タッチペン (2本)

 取扱説明書 (本書)

 必ずお読みください

 目隠しシール (フレーム上の印字を隠せます)

設置する

別途用意したスタンド・壁掛け金具 (VESA) に取り付け、本製品を設置してください。

設置/取り外し/移動の際のご注意

- 本製品はかなりの質量があります。設置や取り外し、移動の際は買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品を壁掛けや天井りなどで使う場合は、特別な技術による工事が必要です。工事は専門の取り付け工事業者に依頼になり、お客様ご自身による工事は一切行わないでください。取付不備、取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品は屋内専用です。
- 本製品の液晶パネル面を持たないでください。破損やけがの原因になります。本体の取っ手を持ち、枠となるベゼル部分に手を添えてお持ちください。
- スタンドの金具や壁掛け金具に取り付ける際は、梱包材に立てたままで取り付けてください。作業時に本製品を倒さないようにご注意ください。
- 本製品を設置するときは、水平な設置面に対して垂直になるようにしてください。また、本製品は縦向きでの設置には対応しておりません。

準備するもの

● VESA 規格に準拠したスタンド・壁掛け金具

※本製品にスタンド・壁掛け金具は付属しておりません。別売の対応確認済みスタンド・壁掛け金具をご使用ください。対応確認済みスタンド・壁掛け金具については弊社 Web ページでご確認ください。設置方法はスタンド・壁掛け金具に添付の取扱説明書をご覧ください。



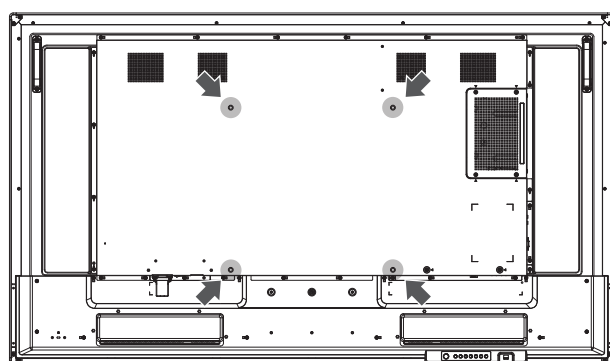
<https://www.iodata.jp/pio/io/lcd/stand.htm>

※壁掛けや天井りの際はスタンド・壁掛け金具が、以下に対応していることをご確認ください。

- 固定用ネジ：M8×15mm (金具の厚みにより異なる)
- 本製品質量：約 38.5kg (本体のみ)
- VESA マウントインターフェース：400mm×400mm
- 締付けトルク：1.7～2.0N・m (17～20kgf・cm)

■ スタンド・壁掛け金具に固定するためのネジ穴

(VESAマウントインターフェース：400mm×400mm)

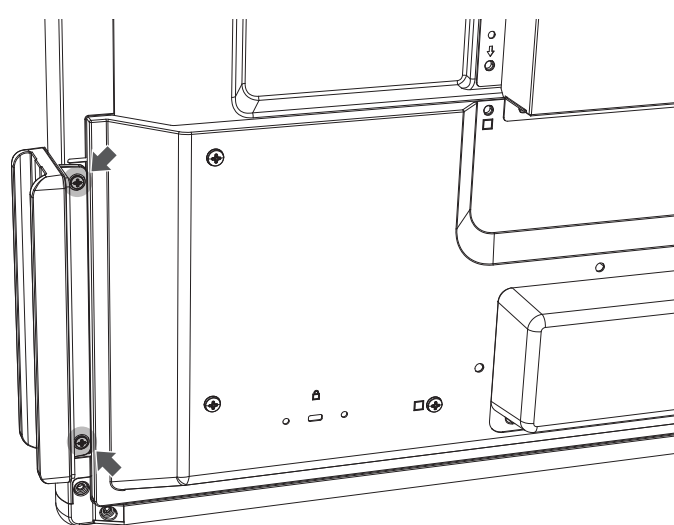


タッチペンホルダーを取り付ける

タッチペンホルダーには、タッチペンを磁石で吸着して収納できます。タッチペンの紛失を防げます。

本製品の背面左右にタッチペンホルダーを固定するためのネジ穴があります。そこにタッチペンホルダーを添付のネジで取り付けます。

お使いの環境に応じて、左右どちらかに取り付けてください。



つなぐ

1 パソコンや映像機器と映像ケーブルでつなぐ

映像出力の端子にケーブルをつなぐ

- HDMIケーブル
- USBケーブル(C-C:別途用意)*1
- アナログRGBケーブル(別途用意)*2

※1 パソコンや映像機器には DisplayPort Alt Mode に対応した USB Type-C ポートが必要です。また、USB ケーブル (C-C) も DisplayPort Alt Mode に対応している必要があります。

※2 オーディオケーブル (別途用意) で本製品の「音声入力端子」ともつないでください。

映像入力端子	最大解像度
HDMI1/2/3	3840x2160 (60Hz)
USB-C	3840x2160 (60Hz)
アナログ RGB	1920x1080 (60Hz)

映像入力端子とつなぐ

- HDMI 1/2/3端子
- USB-C端子
- アナログRGB端子

2 パソコンや映像機器とタッチ用 USB ケーブルでつなぐ

映像ケーブルに HDMI ケーブルやアナログ RGB ケーブルをお使いの場合、タッチ操作を伝えるためにタッチ用 USB ケーブルをつなぎます。

手順1でUSBケーブル (C-C) を使っていない場合

次の手順にお進みください。
タッチ用 USB ケーブルをつなぐ必要はありません。
USB ケーブル (C-C) がその役割を果たします。

USB 端子にタッチ用 USB ケーブルをつなぐ

USB-C 端子とつなぐ

タッチ用 USB ケーブル

3 電源コンセントとつなぐ

ご注意：アースについては以下を守る

- 必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
 - 電源プラグを抜いてから、アースを外す
- 守らないと、発火・感電の原因になります。

主電源スイッチが切になっていることを確認する

抜け防止金具を持ち上げ、AC POWER IN 端子に電源コードを奥までしっかりと差し込む

抜け防止金具を下ろし、電源コードを固定する

4 主電源を入れる

主電源スイッチを入に切り換える

ご注意：電源については以下を守る

- 守らないと、システムやデータが破損する恐れがあります。
- 電源ランプが青点灯中に、主電源を切ったり電源コードを抜き差ししないでください。また、ブレーカー操作などによって電源供給を切ったり入れ直したりしないでください。
 - 電源を切ってから主電源を切ってください。
 - 電源の切/入は、必ず 5 秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。
- 間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

5 電源ランプ/リモコン受光部を引き出す

リモコン操作を受信しやすくするため、電源ランプ/リモコン受光部を引き出します。

レバーを下げ、電源ランプ/リモコン受光部を引き出す

使う

本製品は、添付のリモコンを使って操作します。

指定時刻に電源を入れる／切る（タイマー）

曜日ごとに電源入／切の時刻を設定できます。
（スケジュールの設定）
※ 本体の時刻設定が必要です。



HDMI 機器をリモコンで操作する
（メニュー（CEC））

HDMI ケーブルでつないだ機器を、本製品のリ
モコンで操作することができます（CEC 機能）。



電源を入れる／切る（電源）

映像を表示しない場合は、**【入力切換】**をお試しください
リモコンの **【入力切換】** を押して、映像を表示する入力端子を選ん
でください。
これで解決しない場合は、右の **【困ったときには】** をご覧ください。

ブルーライトを低減する（ブルーリダクション）

表示する映像を切り換える（入力切換）

詳細な設定をする（メニュー）
メニューを開いて、様々な設定をします。

用途に応じた表示に切り換える
（画面モード）

細かな設定をしなくても画面モードを切り換えるだけで、
見やすく美しい映像を表示することができます。

リモコンコードを切り換える（コード切換）

当社の液晶ディスプレイを近くに置く場合、リモコンコード
を変えることで誤って操作しないようにできます。
本体側のコード切換：メニューの **【本体動作】** → **【リモコン
モード設定】** で設定
リモコンコードの切換： **【コード切換】** を押しながら **【青 /
赤 / 緑 / 黄のどれか】** を押して設定

コード1 青 コード2 赤 コード3 緑 コード4 黄

※先に本体側のコードを切り換えてください。リモコン操作でき
なくなります。

よく開く項目を登録する（お気に入り）

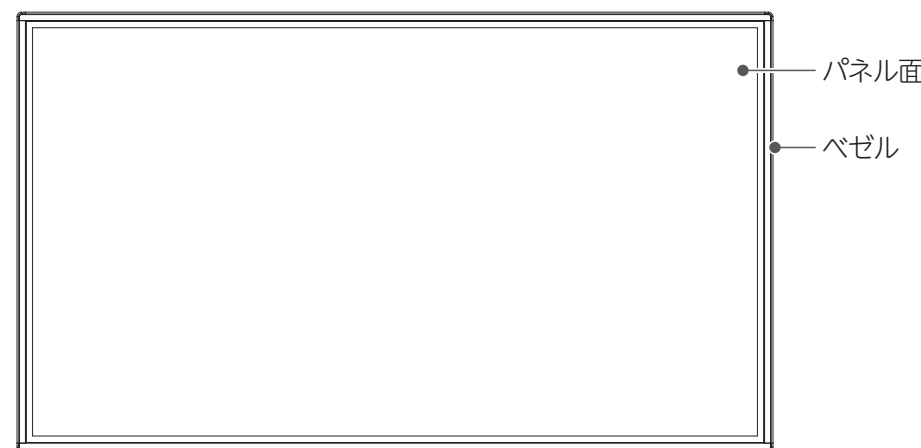
よく開く項目を選んでボタンを3秒間押し続けると、その
項目をお気に入り登録できます。
登録したボタンを押すと、その項目を開きます。

画面をタッチする際のご注意

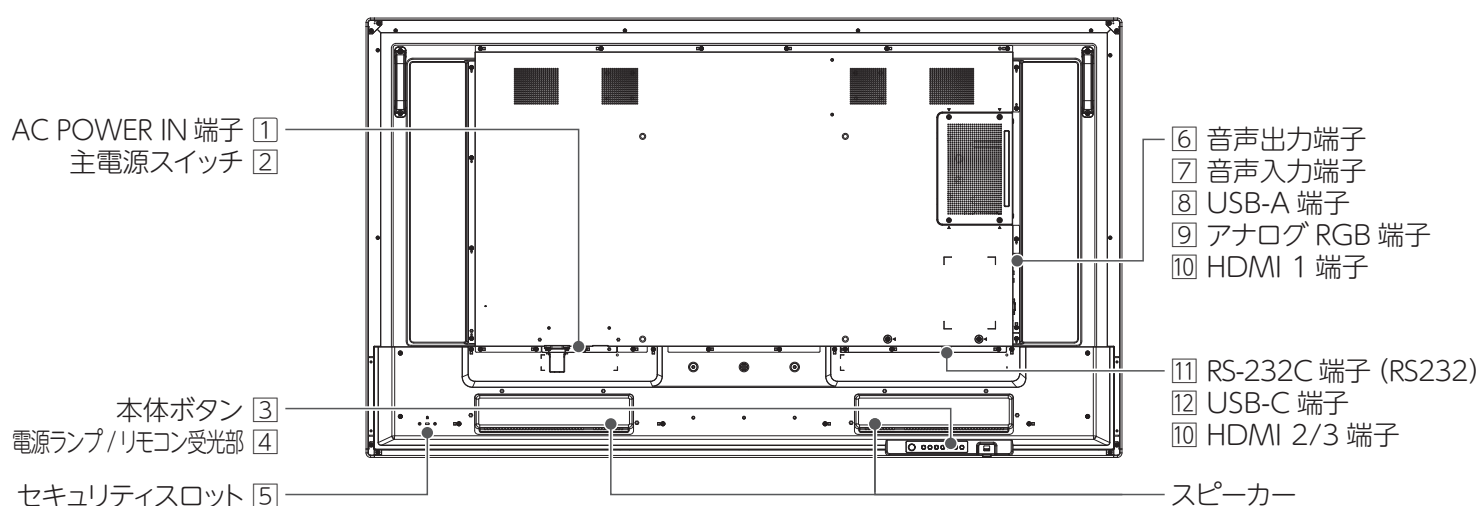
●画面をタッチする際には、添付のタッチペンが指先をお使いくだ
さい。
ボールペンや爪先などの先の尖ったものや圓いものでタッチする
と、画面に傷が付く恐れがあります。

各部の名称・機能

前面



背面



AC POWER IN 端子 ①
主電源スイッチ ②

本体ボタン ③
電源ランプ/リモコン受光部 ④
セキュリティスロット ⑤

⑥ 音声出力端子
⑦ 音声入力端子
⑧ USB-A 端子
⑨ アナログ RGB 端子
⑩ HDMI 1 端子

⑪ RS-232C 端子 (RS232)
⑫ USB-C 端子
⑬ HDMI 2/3 端子

スピーカー

① AC POWER IN 端子：添付の電源コードで電源コンセ
ントにつなぎます。抜け防止金具をご利用ください。

② 主電源スイッチ：本製品の主電源を入／切します。

③ 本体ボタン：本製品を操作します。

④ 電源ランプ/リモコン受光部：本製品の電源状態を表
します。（右下の **【電源ランプについて】** 参照）
またリモコンの操作信号を受け付けます。リモコンの操
作範囲については **【使う】** 内の案内をご覧ください。
近くのレバーを下げると、電源ランプ/リモコン受光部
を引き出せます。

⑤ セキュリティスロット：盗難対策にケンジントン製ロック
を取り付けることができます。

⑥ 音声出力端子（ステレオミニジャック Φ3.5）：別途用意し
たオーディオケーブルでオーディオアンプ等と接続します。

⑦ 音声入力端子（ステレオミニジャック Φ3.5）：別途用意したオー
ディオケーブルでアナログ RGB につないだ映像機器とつなぎます。

⑧ USB-A 端子：主にシステム更新に使用します（通常は利
用しません）。

⑨ アナログ RGB 端子：別途用意したアナログ RGB ケー

ブルで映像機器とつなぎます。

⑩ HDMI 1/2/3 端子：添付の HDMI ケーブルで映像機
器とつなぎます。

⑪ RS-232C 端子 (RS232)：別途用意した RS-232C ケー
ブル（ストレート）を使い、パソコンなどの外部機器から
本機を制御することができます。

⑫ USB-C 端子：パソコンなどにつなぎ、映像やタッチ操
作を送受信します。

電源ランプについて

青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
オレンジ点滅	電源切（スケジュールあり）
消灯*	電源切

* 設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するよ
うにできます。

RS-232C ケーブルを使った制御方法について

詳細は、弊社サポートライブラリをご覧ください。



困ったときには

電源が入らない・映像も音も出ない

- 電源ランプがオレンジ点灯の場合
入力信号がありません。映像機器をご確認ください。
また **【入力切換】** で目的の映像機器をつないだ入力
にしているかをご確認ください。
- 電源ランプが消灯の場合
電源ボタンを押し、電源が入るかご確認ください。
また電源コードが正しくつながっているか、主電源
スイッチが入っているかをご確認ください。

映像は表示するのに、音が出ない

- パソコンと HDMI でつないだ場合
Windows
 - ① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
 - ② **【サウンド】** をクリック
 - ③ **【再生】** タブをクリック
 - ④ 本製品を選び、**【規定値に設定】** をクリック**macOS**
 - ① システム環境設定の **【サウンド】** をクリック
 - ② **【出力】** タブをクリック
 - ③ 本製品を選ぶ
- パソコンとアナログ RGB でつないだ場合
パソコンとオーディオケーブルでつないでください。
- 機器側の音量を確認してください。
- リモコンの音量+ を押し、音量を大きくしてください。

リモコンで操作できない

- 電池が正しい向き（+）にセットされているか、ご
確認ください。
- 電池切れが考えられます。新しい電池に変更して
みてください。
- 本製品に向かって左側にあるリモコン受光部に向け
て操作してください。
- リモコン受光部を収納している場合、リモコン操作で
きる範囲が極端に狭くなります。レバーを下げ、リモ
コン受光部を引き出してください。
- 【リモコンロック中】** と表示する場合、リモコン操作を
ロックしています。リモコンをリモコン受光部に向け、
【緑】 → **【青】** → **【決定】** の順に押し続けてロックを解除して
ください。
- 左の **【リモコンコードを切り換える（コード切換）】** を
ご覧になり、リモコンコードが切り換わっていないか
ご確認ください。

タッチのズレを補正する（Windows の場合）

- ① Windows の検索欄に **【コントロールパネル】** と入力
し、表示されたコントロールパネルを開く
- ② **【ハードウェアとサウンド】** をクリックする
- ③ **【タブレット PC 設定】** をクリックする
- ④ **【調整】** をクリックする
- ⑤ 表示されている十字を順にタッチする（16 か所）
※うまくタッチできない場合
添付のタッチペンを使ってください。またタッチする速さを変え
てお試しください。

※その他の OS については、調整機能がない、効果が薄いなどの理由から当
社ではご案内しておりません。

タッチすると別の画面が操作される（Windows の場合）

- ① Windows の検索欄に **【コントロールパネル】** と入力
し、表示されたコントロールパネルを開く
- ② **【ハードウェアとサウンド】** をクリックする
- ③ **【タブレット PC 設定】** をクリックする
- ④ **【セットアップ】** をクリックする
- ⑤ 画面の指示に従う

※その他の OS については、調整機能がない、効果が薄いなどの理由から当
社ではご案内しておりません。

HDMI で入力した映像が正しく表示されない

添付品以外の HDMI ケーブルをお使いの場合、**【4K
に対応した HDMI 規格認証品】** かどうかをご確認ください。

日時の設定が消えてしまった

主電源が切れた状態が約 1 週間*続くと、時計が止まり、
初期設定の時刻設定前の状態となります。
※ 目安です。本製品の状態により異なります。

ドット抜けがある（赤や緑などの動かない点がある）

液晶パネルが 0.001 % 未満の画素欠けや輝点を持つ
ことによるもので故障ではありません。
修理交換対象になりませんので、ご了承ください。

解決できなかった場合は ...

1 Web の Q & A もチェック



<https://www.iodata.jp/support/qa/lcd/>

2 サポートセンターにお問い合わせ

別紙 **【必ずお読みください】** をご覧になり、
サポートセンターにお問い合わせください。
※ 修理に関する内容も記載しております。

リモコンの操作範囲

リモコンの受光部は向かって左側の背面にあります。
リモコンを図の位置に向けて上に 20° 3m、下 20° 5m、左右
30° 5m 以内で操作してください。
※上記は床面から 70cm の高さで壁掛け設置した状態の参考値です。
※リモコン受光部は引き出したままにしてください。
レバーを上げてリモコン受光部を収納すると、操作範囲が 1m ほど
に狭くなってしまいます。

リモコン受光部

設定変更を防止する(ロック)

リモコンの **【メニュー】** を押してメニューを開き、**【本体ボタンロック】**
【リモコンロック】 を設定してください。

※メニューを介さずにリモコンロックを解除する方法
① リモコンをリモコン受光部に向ける
② **【緑】** → **【青】** → **【決定】** の順に押す

詳しくは **【詳細ガイド】** をご覧ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd_243971/

■VCCI 規格について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としてい
ますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害
を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

■高調波電流規格について

高調波電流規格
JIS C 61000-3-2 適合品

【商品アンケートはこちら】

お気づきの点がございましたら
アンケートにご協力願います。

【商標について】
●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
●HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレス、およ
び HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。